

日本気管食道科学会より

『気道狭窄に対する気道ステント留置術と術後成績に関する後方視的全国調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

気道管理が最重要課題のひとつである本学会主導で、日本国内において気道ステント留置術を施行している医師への全国的調査を行い、今後に役立てるために、気道ステント留置術とその術後管理に関する実態を把握することを目的とします。

➤ 研究（調査）の方法

本邦における各施設の2011年1月1日～2020年12月31日における気道ステント留置術の手技や術後の管理方法などについて、施設責任者にアンケート方式でデータ収集を行い、中央集計したのち解析を行います。

➤ 研究（調査）の参加施設

国内の日本気管食道科学会参加施設

➤ 調査期間

倫理医審査承認（2021年度内）から2023年3月31日
登録期間；登録期間；2022年6月30日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

2011年以降に気道ステント留置術を受けられた方が対象になります。カルテに記載された情報から、データを匿名化した状態で集積して解析いたします。個人情報が入ることはなく新たな負担はありません。

➤ この調査への協力は任意です。

この調査に、ご自身の医療情報が使われることを望まない方はご連絡ください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：永安 武（長崎大学 腫瘍外科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp